

2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年3月15日

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所 東
 コード番号 2978 URL https://tsukuruba.com/
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 村上浩輝
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 小池良平 (TEL) 03-4400-2946
 四半期報告書提出予定日 2021年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の業績(2020年8月1日~2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	760	△23.37	△118	—	△112	—	△119	—
2020年7月期第2四半期	992	—	36	—	36	—	28	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年7月期第2四半期	△12.62		—					
2020年7月期第2四半期	3.20		2.83					

1. 2021年7月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	3,205	992	30.3
2020年7月期	2,162	1,074	49.6

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 971百万円 2020年7月期 1,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,472	△14.3	△563	—	△573	—	△587	—	△62.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年7月期2Q	9,869,700株	2020年7月期	9,799,700株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年7月期2Q	335,600株	2020年7月期	335,600株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年7月期2Q	9,507,244株	2020年7月期2Q	8,996,100株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会について）

当社は、2021年3月15日（月）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社のウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大およびこれに伴う2021年1月の再度の緊急事態宣言発令の影響による個人消費の低迷や経済活動の停滞により、国内外の景気や経済は先行き不透明な状況が続いております。

不動産市場においては、マンション及び戸建住宅用地の高騰と人手不足等の要因による建築費の高騰と高止まりの状態が続いており、併せて、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費者マインドの低下など、予断を許さない状況にあります。

このような経済環境のもと、当社は、主力事業であるcowcamo（カウカモ）事業のサービス改善及び組織体制の強化による事業規模拡大、システム開発への投資などの施策を中心に組み立てまいりました。この結果、当第2四半期累計期間の売上高は760,725千円（前年同期比23.4%減）、営業損失は118,396千円（前年同期は営業利益36,496千円）、経常損失は112,109千円（前年同期は経常利益36,472千円）、四半期純損失は119,949千円（前年同期は四半期純利益28,757千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、先の第1四半期会計期間より、従来の「シェアードワークプレイス事業」から「不動産企画デザイン事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

① cowcamo（カウカモ）事業

当セグメントにおきましては、主に中古・リノベーション住宅のオンライン流通プラットフォームcowcamoの運営を通じて、中古・リノベーション住宅の仲介を行っております。当事業に係る外部環境は、新築マンション価格の高止まりを受けた中古マンション流通の拡大及びリノベーションに対する顧客認知の高まりにより、リノベーションマンション流通市場は拡大基調にあります。

このような環境のもと、事業のさらなる成長に向け、プロダクトの機能改善やオンラインを中心とした広告活動、物件案内を行う営業人員の教育、業務システムの開発などに組み立てまいりました。

この結果、売上高は581,295千円（前年同期比30.2%減）、セグメント利益は59,334千円（前年同期比78.4%減）となりました。

② 不動産企画デザイン事業

当セグメントにおきましては、主にオフィス設計を中心とした設計・空間プロデュースの受託事業及びコワーキングスペース・ワークプレイスレンタルサービスの運営事業から構成されております。当事業に係る外部環境は、働き方の多様化やそれに基づく都心部におけるオフィス移転、分散、縮小の動きがみられ、当セグメントにおいては需要の拡大がみられました。

この結果、売上高は179,429千円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は2,213千円（前年同期比89.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末の資産合計は3,205,134千円となり、前事業年度末と比較して1,042,764千円の増加となりました。これは主に、社債、転換社債型新株予約権付社債の発行等により現金及び預金が1,018,943千円増加したこと等によるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債合計は2,212,522千円となり、前事業年度末と比較して1,124,959千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金がそれぞれ3,718千円、196,162千円増加し、1年内償還予定の社債及び社債がそれぞれ40,000千円、140,000千円増加、転換社債型新株予約権付社債が700,000千円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は992,612千円となり、前事業年度末と比較して82,195千円の減少となりました。これは主に、四半期純損失119,949千円の計上により利益剰余金が119,949千円減少したこと等によるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて1,065,673千円増加し、当第2四半期会計期間末には2,585,562千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は30,916千円（前年同期は13,024千円の支出）となりました。これは主に税引前四半期純損失119,603千円、賞与引当金の増減額34,411千円、未払消費税等の増減額12,320千円等々によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,252千円（前年同期は153,405千円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入46,730千円、敷金及び保証金の回収による収入44,220千円、有形固定資産の取得による支出25,175千円、無形固定資産の取得による支出57,521千円、移転関連費用8,100千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,095,338千円（前年同期は41,120千円の支出）となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入698,548千円等によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期におきましては、プラットフォーム流通総額（PF GMV）の成長の継続を見込んでおりますが、スポットでの法人取引収益の減少や仕入再販取引による売上高を織り込んでいないことなどが減収要因となり、売上高は前事業年度比14.3%のマイナス、売上総利益は前事業年度比3.6%のプラスを見込んでおります。ただし、買主の要望等による仕入再販に起因する売上が発生する可能性があります。

また、当期におきましては、cowcamo（カウカモ）事業におけるユーザー基盤の着実な成長及びサプライサイドにおける事業機会の拡大という現状を踏まえ、収益機会を拡大し、プラットフォーム価値を高めていくことが当社の企業価値向上にとって重要であると考えております。かかる考え方にに基づき、サービスアップデート、サプライサイド強化を可能とする人材獲得のための投資を成長に向けて柔軟に行う方針です。かかる成長投資により、当期の各段階損益は赤字を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,613,625	2,632,568
売掛金	20,847	21,036
仕掛品	3,161	3,759
その他	22,754	22,884
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,660,089	2,679,949
固定資産		
有形固定資産	380,880	394,525
無形固定資産		
ソフトウェア	—	57,521
無形固定資産合計	—	57,521
投資その他の資産		
敷金及び保証金	101,916	54,631
その他	19,485	18,506
投資その他の資産合計	121,401	73,138
固定資産合計	502,281	525,185
資産合計	2,162,370	3,205,134

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	40,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	115,407	119,125
未払金	83,371	79,251
未払法人税等	7,788	345
賞与引当金	—	34,411
その他	58,998	82,635
流動負債合計	305,565	395,768
固定負債		
社債	160,000	300,000
転換社債型新株予約権付社債	—	700,000
長期借入金	602,799	798,961
その他	19,198	17,792
固定負債合計	781,997	1,816,753
負債合計	1,087,562	2,212,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,183	17,275
資本剰余金	1,322,777	1,136,558
利益剰余金	△797,006	△119,949
自己株式	△62,421	△62,421
株主資本合計	1,073,531	971,462
新株予約権	1,276	21,150
純資産合計	1,074,807	992,612
負債純資産合計	2,162,370	3,205,134

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	992,667	760,725
売上原価	267,737	167,625
売上総利益	724,930	593,099
販売費及び一般管理費	688,433	711,496
営業利益又は営業損失(△)	36,496	△118,396
営業外収益		
受取利息	656	7
助成金収入	—	21,142
その他	310	227
営業外収益合計	966	21,378
営業外費用		
支払利息	894	3,492
社債利息	—	694
社債発行費	—	10,017
その他	95	887
営業外費用合計	990	15,090
経常利益又は経常損失(△)	36,472	△112,109
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,276
固定資産売却益	—	961
資産除去債務戻入益	—	1,895
特別利益合計	—	4,133
特別損失		
出資金清算損	—	3,095
移転関連費用	—	8,531
特別損失合計	—	11,627
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	36,472	△119,603
法人税、住民税及び事業税	6,727	346
法人税等調整額	987	—
法人税等合計	7,714	346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,757	△119,949

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	36,472	△119,603
減価償却費	28,406	11,847
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	200	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	34,411
受取利息及び受取配当金	△656	△7
助成金収入	—	△21,142
固定資産売却益	—	△961
支払利息	894	3,492
社債利息	—	694
社債発行費	—	10,017
新株予約権戻入益	—	△1,276
株式報酬費用	—	11,523
支払手数料	—	579
資産除去債務戻入益	—	△1,895
移転関連費用	—	8,531
出資金清算損	—	3,095
売上債権の増減額 (△は増加)	818	△188
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,521	△705
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△50,718	12,320
未払金の増減額 (△は減少)	△18,714	△6,110
前受金の増減額 (△は減少)	9,771	4,125
その他	△10,030	1,942
小計	△6,076	△49,311
利息及び配当金の受取額	128	7
利息の支払額	△881	△3,263
助成金の受取額	—	21,142
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△6,194	507
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,024	△30,916

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,000	46,730
有形固定資産の取得による支出	△86,336	△25,175
有形固定資産の売却による収入	—	1,099
無形固定資産の取得による支出	△46,969	△57,521
投資有価証券の取得による支出	△9,900	—
資産除去債務の履行による支出	—	△8,100
敷金及び保証金の差入による支出	△15,171	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	44,220
貸付金の回収による収入	3,972	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,405	1,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	260,000
長期借入金の返済による支出	△33,930	△60,120
社債の発行による収入	—	189,982
社債の償還による支出	—	△20,000
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	698,548
ストックオプションの行使による収入	—	17,880
新株予約権の発行による収入	—	9,627
支払手数料の支払額	△4,359	△579
その他	△2,831	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,120	1,095,338
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△207,549	1,065,673
現金及び現金同等物の期首残高	1,371,971	1,519,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,164,422	2,585,562

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月29日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2020年12月1日に効力が発生しております。この結果、当第2四半期累計期間において、資本金が601,848千円、資本準備金が858,123千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金の金額の一部797,006千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	832,462	160,205	992,667	—	992,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	832,462	160,205	992,667	—	992,667
セグメント利益又は損失(△)	275,162	20,537	295,700	△259,203	36,496

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	581,295	179,429	760,725	—	760,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	581,295	179,429	760,725	—	760,725
セグメント利益又は損失(△)	59,334	2,213	61,547	△179,943	△118,396

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来の「シェアードワークプレイス事業」から「不動産企画デザイン事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第2四半期累計期間のセグメントの名称は、当第2四半期累計期間のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。